

# 報告 女性の働き方を考える

～リーダーたちが語る本音トーク～

令和元年12月12日（木）、松山で活躍する女性リーダーをお招きし、交流研修会「女性の働き方を考える～リーダーたちが語る本音トーク～」を開催しました。



## パネリスト

株式会社えひめリビング新聞社  
常務取締役

小原 明美 さん

株式会社キャップ  
代表取締役

森 美佐子 さん

## コーディネーター

特定非営利活動法人  
ワークライフ・コラボ  
代表理事

堀田 真奈 さん



株式会社愛媛銀行  
ソリューション営業部  
副調査役

槇野 映子 さん

松山市役所  
人事課 主査

遠富 由恵 さん



前半は、パネルディスカッションを、後半はパネリストと共にお茶菓子を囲んで和やかにグループワーク交流会を行いました。最後に、5人のリーダーの皆さんがこれからの仕事に活かせるお仕事を教えてくださり、たいへん内容の充実した2時間となりました。

## パネルディスカッション

この仕事に就いたきっかけは？



(遠富さん) 結婚や出産のタイミングで、仕事を続けるかどうかの決定権を自分で持つことのできる仕事を選びました。

自分が描いていたライフキャリアと、実際とは違っていましたか？  
仕事をしていく中で、価値観の変化はありましたか？



(森さん) 専業主婦を熱望していたので、全く違うキャリアを歩んだように思えますが、どんな場所でどんな立場であっても、成長しながら人の役に立ち、楽しく前向きに日々を過ごしたいという考えそのものは変わっていないかもしれません。

(槇野さん) 母がずっと仕事をしていたため、自然に自分も定年までそうすると思っていました。新人時代はそれほどスキルアップに熱心ではなかったのですが、女性で総合職に就いている優秀な先輩の活躍に影響を受け、変化しました。

現在の役職になった転機やターニングポイントは？

(槇野さん) 自分のキャリアについて悩んでいるときに相談によってくれる上司がいて、管理職を目指すきっかけを示唆してくれました。

今後の目標は？

(小原さん) 仕事を離れたときに、どれだけの知己を得られるのか？それが財産だと思うので、これから楽しみでもあり恐怖でもあります。



## グループワーク交流会



参加者の職種は様々でしたが、仕事に関する悩みや職場の課題には、共通する部分も多かったようです。交流会でよく聞かれた今回のパネルディスカッションの感想や、仕事に対する悩みや等をご紹介します。

### 仕事のモヤモヤ

男性が強い職場で、女性には発言しにくいと感じる。

女性上司の言うことを、男性が聞いてくれない。

仕事と子育てのバランスに悩んでいる。

結婚出産を考えると、働き続けることに不安がある。

### 共感

今までの自分を肯定できた。自分だけが思っていたことではないと知り、安心した。

仕事とプライベートが両立できる職場を作りたいと思った。

「モヤモヤが次につながる」、「仕事や役職を決めるのは上の者の責任なのだから、来るもの拒まずの姿勢で取り組むといい」という言葉で肩の荷が下りた。

女性リーダー5人が、実践に役立つビジネステクニックを伝授  
**今日から使えるビジネステクニック**

(小原さん)「大事なことは二度伝える！(みのもんだ方式)」

(森さん)相手の目を見て話す、感謝の気持ちを伝えるなど、相手の存在を認める言動(肯定的ストローク)を実践してみてください。



## 参加者アンケートより

普段、聞くことが出来ない“仕事への本音”を聞くことが出来、安心しました。仕事の悩みを人に相談することがないので、皆で共有できる感じが、嬉しかったです。前向きになれました。  
(女性・20代)

あつという間でした。もっと聞きたかったです！(女性・30代)

皆さんの色々な話をきいて、とても参考になりました。これからの働き方に活かして行きたいと思います。  
(女性・40代)

パネリストのリーダーの方達も、悩みやジレンマを抱えていて、1つずつクリアして今の立場があるのを聞いて、自身の悩みも「これでいいんだ」と自信が持てました。  
(女性・40代)

大変参考になるお言葉を頂きました。気が楽になったのが一番の土産となりました。(女性・50代)

「日々学ばなければ、自分の賞味期限が切れる」ことを今さらながら痛感しました。若い人たちの発言に頼もしさを感じました。  
(女性・60代)



パネリストのみなさんが、これまでの経験を率直に語って下さり、タイトル通り本音トーク満載のパネルディスカッションとなりました。

後半のグループワークでも、パネルディスカッションの感想を共有することをきっかけに、正直に本音を語り合っていただけでした。

終了後の参加者アンケートでは85パーセントの方が「大変よかった」と答えて下さり、実りの多い交流会となりました。